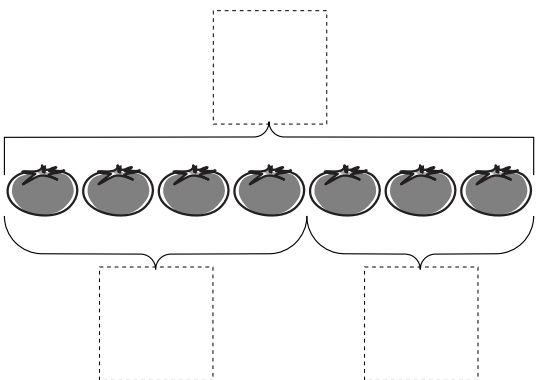
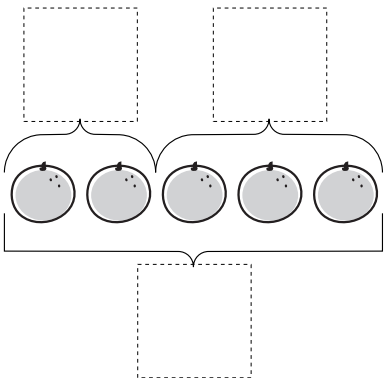
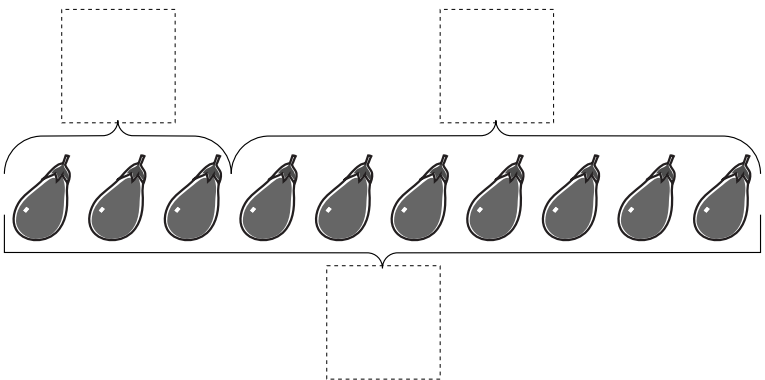


1) 加減図(足し引き図)を読んで品物の数を数え、□に数字を書き入れる。書き順は注意。
 2) 数字の書きが困難な場合は、教を聞いて、正答なら薄く下書きしてやり、なぞらせる。

a) 加減図体験。数を集合としてとらえる。図に表すことから出発した「加減図」は、いずれ文章題のシエドとなる。
 b) 部分集合と全体集合の同時的(視覚的一瞥)把握。
 c) 部分集合は円なので、全体集合は四角のなごりで直線を引いている。

特定用具: 不要

Date:



□は いくつ?



- 1 2 3 4 5
- 6 7 8 9 10

